

一般社団法人 日本飛行連盟  
〒105-0004  
東京都港区新橋1-18-1航空会館  
TEL:03-6268-8755  
FAX:03-3502-0680  
E-mail:jfa1953@seagreen.ocn.ne.jp  
HP:http://jfa1953.org

# AERONCA

[ Japan Flying Association / J F A ]

since1953

あけましておめでとうございます。  
今年もよろしく願いいたします。

## 年頭挨拶



一般社団法人日本飛行連盟  
理事長 中澤 愛一郎

最近、つまらない、注意すれば避けられる事故を含めて、残念ながら事故が絶えません。私も航空局が主催する、小型航空機の安全対策の会議に出席していますが、考えれば考えるほど、結局はパイロット自身がそれぞれに注意するしかないのかと、ちょっと暗澹たる気持ちになっています。

会議の中では簡易型のフライトレコーダーを搭載する案も出ていますが、あくまでも、それらの機器は事故の原因が後でわかることに寄与するのであって、それらの機器が事故を防止してくれるわけではありません。今年は何んとか、事故の連鎖を断ち切りたいと思います。

弊連盟が管理運営する飛行場は茨城県の大利根飛行場と静岡県の三保飛行場の2箇所です。私は、日本飛行連盟の理事長として重要な仕事は、両飛行場で飛ぶパイロ

ットの質をある程度以上に保つことだと思っています。特に両飛行場は基本的には、各パイロットの性善説に基づいて運用されています。そんな中、誰も飛ばないような天候の中飛んでしまうパイロットや背風の中、平気で離陸してしまうパイロットは、さらさら、排除します。(どこぞの知事の言葉ではありませんが)利用者お一人お一人がより一層の航空安全確保の意識を持ち続けて頂ければ、その事が両飛行場の安全を保つ事に繋がり、多種多様な航空機が集まる日本で一番楽しい飛行場を目指していけるのだと思っています。

気を引き締めながらも、皆様と共に明るい飛行場ライフを作って参ります。

皆様も幸多き年でありますように。本年もご支援の程よろしくお願い申し上げます。

### TABLE OF CONTENTS

- 「年頭挨拶」 ..... P1
- 「赤十字飛行隊」 ..... P2~4
- 「支隊紹介」 ..... P5
- 「シェーン、Well Come Back!!」 ..... P6
- 「セルフブリーフィング」奥貫 博 ..... P7
- 「JFAサロン」 ..... P8









# シェーン、 Well Come Back!!

**ア** イルランド人の父親と、日本人の母親を持つ17歳のシェーン君はアイルランドの現地高校に通いながらEASA(欧州航空安全機構)及び、IAA(アイルランド航空局)でパイロット訓練をしています。

第1種航空身体検査証明書に4級アマチュア無線技士の資格も有していて、日本語・英語・ドイツ語が堪能。そんな彼が日本に一時帰国をするので「是非とも高橋淳さんのお話をお聞きし、フライトに同乗したい」のリクエストがありました。「戦時中の混乱の中で、どのようにパイロットとしてまた人間として生き残り、人生を歩まれてきたのかを同じ空を目指すパイロット訓練生として大変興味があります・・・」とのことでしたが、残念ながら希望日は2週に亘って大雨や台風でフライトは叶わず断念。しかしもう一つのパターンが残っていました。



みんなで協力しての出庫



シェーン君(中央)

アイルランド共和国には、Work Experience System(短期インターン)というものがあるそうです。これは、生徒自ら興味のある職場にて一週間の短期インターンを行うもので、その期間中は全て保険により保障もされているとのこと。それならば大丈夫、ぴったりの職場をご紹介・・・ということで大利根飛行場&日本モータグライダークラブを学びの場としてご提供しました。

折しも台風後の飛行場、やることはピッタリあります。滑走路清掃も頑張ったそうです。シェーン君は大利根ロケーションと職人技、人種のるつぼにも適合されたようで写真のとおりしっかりと馴染んだ様子。その後単位は取れたでしょうか、今頃彼の地で大利根が話題になっているかもしれません。

# セルフブリーフィング

奥貫 博

操縦訓練の段階では、飛行の前後に、教官によるブリーフィングが行われます。飛行前のブリーフィングでは、飛行に対する情報収集等の準備状況確認から始まって、当日の飛行訓練内容や、その要領、注意事項、課題の説明等が中心になります。

飛行が終了しますと、飛行後のブリーフィングとして、当日の訓練内容の出来具合、注意すべきこと、反省すべきことや、技量向上のための着眼点等の説明と質疑応答等が行われます。また、次回に対する課題設定等や、宿題等が与えられることもあるでしょう。

これらのブリーフィングは、技能証明取得の教育の一環として行われるものですが、その内容は全て、安全なパイロットになるための必須事項ですから、技能証明のためということではなく、空を安全に飛ぶためには、必ず実施しなければなりません。

飛行機の性能については、航続時間等と共に、出発及び着陸に利用する飛行場の滑走路において、当日の気象条件等で安全に離陸及び着陸を行うことが可能であることを確かめておくことが必要です。また、離陸時のエンジン出力の不足、加速不良等が発生した場合に備え、離陸中断の決心点を予め決めておく等が求められ、更に、離陸直後のエンジン出力低下等を伴う異常事態に備え、可能な限り被害を少なくする飛行の経路、飛行場へ戻ることの可否判断高度、不時着場等の計画等も必要になります。

滑走路長が短い場合や、周辺に民家等がある滑走路の場合、これらの判断は特にシビアになります。単発機の場合、600m滑走路では、滑走路中央標識の位置が離陸中断の決心点の目安と覚えておいた方が良いでしょう。

技能証明を取得し、機長として飛ぶようになりますと、これらは、航空法の出発前の確認事項と共に、全てセルフブリーフィングとして確認することが求められるのですが、飛行の前には、時間に追い立てられることもあるでしょうし、また燃料を減らしたいと言っても、飛行の現場での実施は困難ですから、可能なものは、事前に調べておく等も必要になります。要は、事前計画とセルフブリーフィングの両方が必要という訳です。



■セルフブリーフィングは技量維持にも有効

セルフブリーフィングはまた、技量の維持向上にも役立ちます。飛行時間を重ね、飛行にも、機体にも慣れてきますと、特に意識しなくても飛べるようになるのですが、そのような飛行を重ねても、技量の維持向上は期待できないどころか、気がつかないうちに、基本的なことの欠落や、不安全の要素を見逃すような状態にもなりかねません。

特定操縦技能審査は、飛ぶための、基本的な知識及び技能の確認には有効ですが、2年毎の、限られた時間での実施ですから、技量の維持向上は、毎回の飛行において自分自身で心がけ、実行することが必要でしょう。

最も基本的な、速度、高度、ヘディングの維持にしても、有視界でただ飛ぶだけでしたら、ある程度は適当でも支障無いでしょうが、速度5Kt、高度100Ft、ヘディング5°等を、常に管理できるように技量を維持しようとするれば、それなりの努力の継続が必要です。

私も最近では、着陸に際し、無計画で不用意にパワーを足すような進入をしないことと、失速警報を必ず3秒以上作動させてから接地させることを心がけ、それをセルフブリーフィングで確認するようにしていますが、それにより、他人の目からは、滑らかな接地と見られるような状況でも、自分自身としての反省材料が見えてきて、その結果、以前よりも着陸が安定してきたような気がします。

そのようなこともありますので、機長の出発前の確認事項から始まって、性能、非常時の対応、それに自分自身への課題等も、セルフブリーフィングで確認することにより、安全な飛行の実現を心掛けたいと思います。



## 航空安全講習会

### 詳細

- 会 場 **取手ウエルネスプラザ セミナールームA**  
〒302-0024 茨城県取手市新町2-5-25
- アクセス JR常磐線取手駅・関東鉄道常総線取手駅  
西口より徒歩3分
- 主 催 (一社)日本飛行連盟/(一社)日本航空機操縦士協会
- 共 催 (公社)日本滑空協会/NPO-AOPA-JAPAN/  
NPO-全日本ヘリコプター協議会
- 後 援 国土交通省航空局
- 講師・内容 佐々木 匡 認定講師  
『最近の変更点および過去の事例から学ぶ』  
藤沼 敏弘 認定講師  
『NAV Plan を考えてみましょう ~隣は何をする人ぞ~』

### 申込先・お問合せ

日本飛行連盟 TEL:**03-6268-8755**  
FAX:**03-3502-0680**  
Mail: jfa1953@seagreen.ocn.ne.jp

### 日 時

平成30年

**1/13** 土

午後1時~5時

日本飛行連盟、日本航空機操縦士協会、日本滑空協会、AOPA-JAPAN、全日本ヘリコプター協議会の会員は受講費無料、一般の方は受講費3,000円。教本は一律1,000円です。

新年早々ですが今年もセーフティフライトを続けるためにも、是非大勢の皆様のご参加をお待ち申し上げております。

## ●日本飛行連盟の飛行場

Airport

### 大和飛行場

茨城県稲敷郡河内町・利根川河川敷

昨年10月の台風で飛行場全面が冠水し一部に泥が溜まっている状態ですが、一部グラスタキシーウエイを除き通航ができる状態までになりました。まだ埃が多い状態ですがたくさん元気に飛んでいます。また1月からはじまる連続ドラマの撮影も大和で行われました。みなさんお楽しみに!!

### 三保飛行場

静岡県静岡市清水区三保・三保半島

こちらも昨年の台風や大雨の影響で砂が上がりました。昔はこんなことはありませんでした。海岸線の変化か?砂は自分で戻ってはくれませんから後始末がやっかいです。欲しい方!! 砂も流木も難破船?のようなボートも・・・どうぞ持っていて下さい!!